

児童】

事例 「すくすくけんこうきょうしつ」 —歯みがき援助—

しののめ会（神奈川県） 〒236-0023 神奈川県横浜市金沢区平潟町17-1 聖星保育園 TEL 045-783-8869

活動の概要

当園が保育プログラムの中で実施している、歯みがき活動に地域の児童が参加しています。

主な指導内容

- ①バランスのとれた食事と健康な歯についてのお話
- ②正しい間食の与え方
- ③サイズのあった歯ブラシで正しい磨き方の指導
- ④永久歯萌出児には特別な磨き方の指導

法人の概要

1968年頃栄保育園が創設。1973年個人経営から法人経営へと組織変更を行いました。1974年3月社会福祉法人しののめ会として厚生大臣の認可を受け、引き続き5月横浜市長より頃栄保育園乳児定員30名として認可を受け、その後、園児の成長と共に受け入れられる施設が要望され、1976年聖星保育園の新設となり、乳児だけでなく、幼児や障害児保育（統合保育）、小学校低学年の学童保育に適した施設として発足しました。1981年頃栄保育園の老朽に伴い全面改築を行い、聖星保育園の敷地内に移転しました。1982年二園を合併し、聖星保育園に一本化されました。

1995年知的障害者通所更生施設 聖星学園を新設。

2002年公設民営・認可保育所 横浜市金沢八景保育園受託。

●経営施設数…3

●法人全体の年間事業収入…537,794千円

●主な経営施設

認可保育所 聖星保育園

1976年設立 定員150名

知的障害者通所更生施設 聖星学園

1995年設立 定員56名

公設民営・認可保育所 金沢八景保育園

2002年設立 定員60名

実施施設の概要

●施設名…聖星保育園

●施設種別…定員150名

■施設の運営方針

「互いに相愛しなさい」というキリスト教の信仰により障害を持つ児との統合保育を行い互いに、たすけあい、愛し合う、ことを学び誰からも愛され、誰をも愛せる子どもに、成長することを願い保育を行っています。

■活動の内容

●活動対象者…0歳～就学前児

●活動の頻度…年間5回

●年間延利用者数…12～15名

●活動開始年…平成5年

■活動開始の背景（取り組みの経緯）

子どもや子育てをとりまく環境の変化に伴い地域の子育て支援のひとつとして当園が日常保

1. 地域ニーズへの対応

(1) 施設機能などの地域還元

育を通じて蓄積してきた経験を地域に向けて提供している活動のひとつです。園の「歯の健康」年間指導計画に基づいた園児の指導と共に地域の乳幼児をもつ、家庭へも参加の呼びかけを行い、園児と同様に指導を行っています。

一地域への呼びかけには、保護者同伴の支援となっています

保護者には、虫歯予防の考え方や知識等を啓発することを目的としており、子どもたちひとりひとりが、一生使っていく大切な歯のために、「すくすくけんこうきょうしつ」という名前を設け、虫歯予防に興味と関心がもてるよう努めています。

■人材・資金面等での工夫、苦慮

人材—歯科衛生士 2 名 指導日に来園しています

限られた時間を利用して、保育士、栄養士で指導にあたっています。毎年の内容の充実化につとめるために歯科衛生士、保健師、栄養士、保育士の4部構成で年度末にその反省と次年の指導プログラムの話し合いを行っています。

なお、指導日当日、栄養士が給食業務にあたっている時もあり、支障のないように指導プログラムの時間のタイミングを合わせることも工夫していることのひとつです。

■利用者の声、地域の反応

参加した家庭より

一地域の男児—

先生のお話がとてもわかりやすく、すぐに実行できるようなことばかりで助かりました。私の歯みがきの指導までしていただき、みんなで楽しくやればいやがらずに、口を開けてくれたのでびっくりしました。本当に今日は来たかいがありました。

一地域の男児—

仕上げ歯みがきをとにかく嫌がってしまい私もおっくうになってしまったところにご指導いただいたありがとうございました。なぜ歯みがきを嫌がるのか今後どのように歯みがきをしたらよいのかわかりました。

■活動の成果、地域の影響、今後の課題

今後も地域のニーズの把握につとめ園の実情に合わせた地域の子育て支援を積極的にすすめて行きたいと思います。



すくすくけんこうきょうしつの様子